

令和元年度 子どもさわやか賞 受賞団体の活動紹介



高槻市立第二中学校 陸上競技部

全国大会や近畿大会等にも出場するなど、部活動で成果をあげていく中で、地域にもっと貢献したいという部員の思いから平成26年より朝練前に全員で地域の清掃活動を行っている。また、地域教育協議会のクリーンキャンペーンにも毎年積極的に参加している。

太鼓組 ^{かせ} 爽風（豊能町）

太鼓組爽風は、北摂子ども文化協会の太鼓チームの一つ。子どもから社会人まで様々な世代の者が、太鼓の演奏、練習を通して交流し、青少年の健全な成長を見守ることを目的としている。

こどもの祭りである妙見山星嶺祭や、地元の夏祭り、夏至の日に音楽を楽しむ「音楽の祭日（国立民族学博物館）」などの催しに参加している。

柏原市立堅下南中学校

1. 堅下南地区のひとり暮らし高齢者への友愛訪問活動

1年生を中心に10月下旬に「ふれあい訪問」と名づけ、手作りカレンダーとお花の鉢植えを持参し地域のひとり暮らし高齢者を訪問し地域のつながりに貢献している。

2. あいさつ運動

更生保護女性会の委員の皆様と協力し、登校時に正門前で「おはようございます」のあいさつを奨励し、人との交流のきっかけづくりを育成し合っている。

関 優衣（茨木市）

小学校5年生であった平成29年より、自分ひとりで児童発達支援施設を訪れ、レクリエーションを行うことをはじめた。以後、ほぼ1カ月に1回のペースで活動している。内容はすべて自分で考え、実行している。

プログラム例

①あいさつ ②ピアノ演奏 ③ジングルベルの曲を楽しもう ④絵本よみきかせ2冊 ⑤まねっこゲーム「聞いて見て、まねっこ」 ⑥みんなへプレゼント ⑦あいさつ

なわて子ども太鼓（四條畷市）

なわて子ども太鼓は、「子どもたち相互の友好を深めるとともに、将来、四條畷市の文化活性に貢献してもらえるような和太鼓集団に育てあげたい」との目的で平成16年に結成された。

現在では、四條畷市の顔として老人ホームや保育園をはじめ、自治会や地域のイベント・アトラクションなど数多くの舞台で和太鼓演奏を行い、市内外を問わず積極的に地域の活性化に取り組んでいる。

また、2月には『災害復興支援～心をつなぐ～チャリティーコンサート』にも出演。

今年は結成15周年を迎え、ますます伝統文化・地域社会の発展と活性化に期待している。

河内長野市立天野小学校 6年生

天野山金剛寺において、歴史的文化遺産を観光客などに解説する活動を行っている。

社会科の歴史学習をベースに、総合の時間で学習する「ふるさと学」や金剛寺の方や、地域の方から聞き取った話・地元の民話、ふるさと文化財課の郷土や歴史の学習で学んだことをまとめたものを解説している。

また、解説方法も子どもたちで考え、タブレットPCを使い写真などの資料を見せるだけでなく、クイズやペープサートに寸劇や漫才など見てくれる方々に楽しんでいただけるよう工夫している。



河南町立中学校 吹奏楽部

老人ホームでの演奏会

(夏まつり、敬老式典、クリスマス会)

以前からお年寄りの方に吹奏楽の演奏を楽しんでもらえるようにしたいという子どもたちの発案から、老人ホームでの演奏を実施している。お年寄りの方々は非常に喜んでおり、年々演奏の機会も増えている。

現在は1施設での演奏だが、今後、演奏する施設の数を増やしていけるよう活動を続けている。

泉南市立信達中学校

中学校3年間を通して、いのちの学習を実施している。

1年生では、いのちの生まれる瞬間の尊さや自分のいのちには価値があることを学び、2年生では、妊婦体験を通じて親の思いや性別による役割分担を「男女共生」の立場に立ち学んだ。

3年生では、集大成として、地域の約60組の親子(0歳~1歳)が参加し子育て体験を実施している。子育てする大切さ、喜び、命の大切さ、親子の絆を学び、次代の親としての意識をもち、性別にとらわれず将来の子育てへの参画、子育て中の親子に対する優しさ等を学ぶ貴重な体験となっている。

認定こども園 教円幼稚園(岬町)

教円幼稚園の年長の園児全員で実施する太鼓は、教円太鼓として地域で愛され、老人施設、いきいきサロンや地域でのイベントに出演し、地域福祉の一助となっている。

練習は日々の園内で過ごす時間内に行っている。

児童養護施設 聖ヨハネ学園(高槻市)

児童養護施設 聖ヨハネ学園の子どもたちは、さまざまな理由によって保護者と離れて生活している。子どもたちにとって良い経験になればと、園内ではさまざまな取り組みがされており、その一つがバレーボール活動である。たくさんの子に参加してもらうため、遊びの要素も取り入れて工夫して活動しており、活動の継続を通じて子どもたちの心身の成長を目指している。

ボーイスカウト貝塚第2団

当該団体は47年の長きに渡り、毎年海開き前の二色の浜を清掃している。

きっかけは、昭和47年4月に二色の浜でキャンプをしていた当該団体の子どもたちが、他市から訪れたとみられる若者たちが「この海岸は汚いところやなあ!」と話しているのを聞いたこと。若者たちが去った後、相談した子どもたちはゴミ拾いをすることを決め、一生懸命ゴミを拾った。

それ以来、「二色の浜海岸はきれい」と言ってもらえるよう、大雨や台風の年を除き、毎年自主的に清掃活動を行っている。

平成3年に大阪府港湾局が二色の浜の清掃を主催するようになってからも、それに協力するという形で清掃活動を続けており、当該団体による清掃活動は平成30年で38回を数えるまでになった。

現在では毎年300人以上が参加する海開き前の二色の浜の清掃だが、当該団体の活動がその先駆けであった。当該団体では現在も子どもたちが活動の中心となって、地域の清掃や募金などのボランティア活動を続けている。

阪南市立飯の峯中学校

①サンサンパーティー

飯の峯中学校区の様々な関係団体との協働で年1回実施している障がい者理解教育で、毎年地元の障がい者施設から障がいのある方々を招き、車いすなどの体験とともに障がい者と合奏したりして触れ合う。

②子ども福祉委員

阪南市で初めての子ども福祉委員「夢かなえ隊」を組織し、民生委員・児童委員と近所の高齢者宅を回り、社会福祉協議会のサポートを受け高齢者の困りごとを解決している。

③認知症卓球

認知症になっても卓球がしたいという人の要望を受けた阪南市西鳥取・下荘地域包括支援センターが飯の峯中学校卓球部に協力を依頼し、実現。認知症の方々が、中学校卓球部員とともに活動している。

